

明知鉄道での蒸気機関車の復元に向けて

平成25年度

SL(C12244)を移設
～明智小学校から明智駅構内に～



明智小学校からの移動

平成27年度

JR東海より無償譲渡

SLの簡易復元
～コンプレッサーにより駅構内を走行～

協力体制の確立
～あけてつSLファンクラブの設立～



簡易復元に向けた整備



簡易復元したSL(C12244)

平成28年度

SL乗車体験の開始
～車掌車に乗車して駅構内を走行～



明鉄運転士による運行



SL乗車体験

令和3年度

SL復元検討
～運営・整備体制や人材育成の検討～

JR東海より無償譲渡
～C1274～



ファンクラブ募集のポスター

令和X年度

リニアの開通に合わせてSLの運行開始
～恵那駅と明智駅間の運行開始(案)～



中央図書館横にて保存(C1274)

蒸気機関車 C1274 に関する情報

製造 昭和9年3月12日 三菱神戸造船所
走行距離 1,532,607 km
配属先 小牛田、釜石、中津川
廃車 昭和48年11月30日～

蒸気機関車 C12244 に関する情報

製造 昭和15年7月30日 日立製作所
走行距離 1,128,579 km
配属先 白山、新潟、直江津、中津川、稲沢第一
西舞鶴、厚狭、中津川
廃車 昭和48年11月30日～

現在想定しているSLの運行方法について

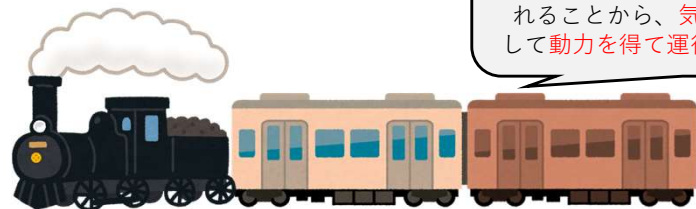
○想定する運行形態

現状の明知線の状況をふまえ、SL 運行を以下の通り想定する。

車両	3両編成 (SL 機関車 + 気動車 + 気動車)	定員: 気動車 2 両で 192 名
SL 運行区間	恵那⇒明智⇒恵那 (営業 1 往復)	
停車駅	恵那・岩村・明智	
営業日数	休日を中心に年間 150 日程度	

①運行想定車両

動力を持たない客車を利用すると、明知鉄道の路線においては、車両が坂を上らなくなってしまうなど緊急事態が想定されることから、気動車を客車として活用して動力を得て運行する方法を現在想定。



岩手県で運行していたSL銀河も同様の運行方法

- ・ C12 244 (明智駅)
 - ・ C12 74 (図書館)
- 現在明知鉄道で運行している車両 (気動車) を活用

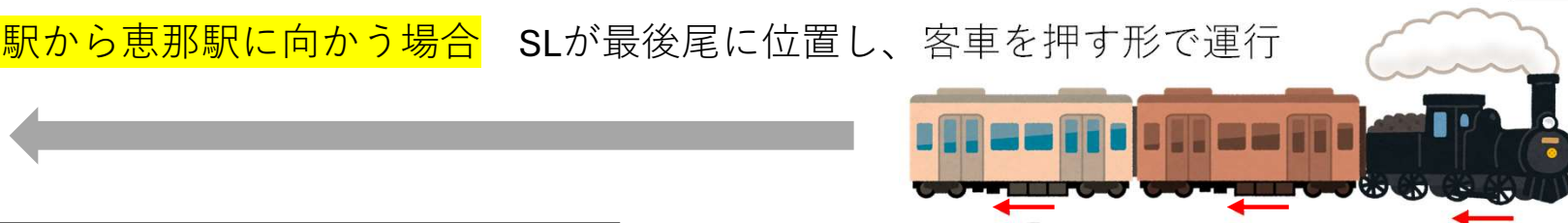
②SLが運行する向き

※下記の運行はあくまで例となります。

①恵那駅から明智駅に向かう場合 SLが先頭に位置し、客車を引っ張る形で運行



②明智駅から恵那駅に向かう場合 SLが最後尾に位置し、客車を押す形で運行



【転車台】SL車両の向きを進行方向に向けるためには、転車台が必要となる。現段階では、設置場所及び費用の関係で積算には含まれていない。

転車台：1カ所概ね1億円



大井川鐵道 新金谷駅転車台

又は、SLを先頭にもってくる形で運行。

